

# 一般質問

9人が町の姿勢を問う!

一般質問は3月12日・14日の2日間行われ、9人の議員が登壇しました。平成20年度の町長施政方針に対する質問を行ったほか、全国的に進められている食育問題や、新たな取り組みとなる特定健診などの施策について、厳しく町政をただしました。質問と答弁を要約してお知らせします。

## 島田 榮一 議員

1. 所信表明について
2. 行財政改革について
3. 防災行政について

## 備前島久仁子 議員

1. 町長の公約および政治姿勢について
2. 緊急情報配信に携帯メールを活用せよ

## 関口 祝嘉 議員

1. 自立を選んだ町民の皆さんに町長の考えを問う
2. 職員互助組織への公費助成について問う

## 斉藤 嘉和 議員

1. 平成20年度施政方針について
2. 元気な高齢者をつくる施策について
3. 学校部分林管理事業について

## 中里 知恵子 議員

1. 平成20年度施政方針について
2. 県央処理場について

## 筑井 あけみ 議員

1. 平成20年度施政方針について
2. 特定健診・保健指導スタートの準備と周知は如何に
3. 地産地消の推進事業
4. 先の町長選挙の総括と今後を伺う

## 三友 美恵子 議員

1. 平成20年度施政方針について
2. 町の将来ビジョンについて
3. 食育の推進について

## 宇津木 治宣 議員

1. 平成20年度施政方針を聞いて
2. 自律の土台となる地域経済の振興と雇用の確保をすすめる施策を
3. 4月から開始する特定健診・特定保健指導実施に万全を期せ
4. 町民税や各種料金などの滞納への対応は

## 町田 むねひろ 議員

1. 年賀状は公職選挙法違反では?
2. 町長が自分の給与をアップ
3. 安くて入れる老人ホームをつくれ
4. 生活道路の整備を促進せよ
5. 臨時・嘱託職員問題を解決せよ

## 町長選の検証と町の将来像を問う

島田 榮一 議員



**Q** 今回の町長選は高崎合併が争点となり、買井町の自律路線が信任された。

しかし、有権者の20数パーセントは高崎合併を望んでいることも判明した。町の将来像をどのように考えるか。

**A** 町長 今回の選挙

戦で感じたことは、子どもたちが、ふるさと玉村町を合併しな

いで残してほしいという声であった。

将来は道州制を見据え、政令指定都市を目指し、当面自律路線を進めていく。少子高齢化社会に向けて、健康と福祉の町づくりに邁進したい。

**Q** 給食費の未納が県下の原因と対策をどのように考えるか。

**A** 教育長 玉村町の未納額は、平成18年度末で1736万3000円

である。これは平成3年度からの総額である。保護者

によって、納付できない理由はさまざまであるが、粘り強く納入の働きかけをしていきたい。

意図的、悪質と思われる状況があれば、法的措置も視野に入れ、強い姿勢で取り組んでいく。

**Q** 県から、利根川流域の浸水想定区域図が

標された。洪水ハザードマップの作成をどのように考えているか。

**A** 町長 大規模な台風

や集中豪雨を想定した洪水ハザードマップは、町としても以前からの関心事である。町民が活用しやすいものを、平成20年度に作成予定である。



台風9号による大雨で増水した利根川

## 自立を選んだ町民の皆さんに町長の考えを問う

関口 祝嘉 議員



**Q** 東毛広域幹線道路の玉村町内全面

**Q** 財政基盤を確立し、住民サービスの向上に努めるとともに、県央100万都市の実現に対する思惑はあるのか。

**A** 町長 安定した財政基盤を作るため、企業誘致を進めている。周辺市の状況を見ながら、合併について検討している。

**Q** 特定企業により、土地はまとめられている状況のため、町としては公的な開発

**Q** 北部工業団地は民間企業の進出が決まったが、東の用地約6haの企業誘致をしているのか。

**A** 町長 特定企業により、土地はまとめられている状況のため、町としては公的な開発

**Q** 上福島74haの土地が、16年過ぎても開発が進まないのはなぜか。

**A** 町長 地権者から開発に関する要望を聞いている。

また、土地は特定企業によりまとめられている状況である。企業が計画を策定しているため、今後の動



造成工事が始まった北部工業団地

## 公約への取り組みと、緊急連絡に携帯メールの活用を

備前島 久仁子 議員



**Q** 救急病院の誘致は、

**Q** 第一期目の公約と、その取り組みの評価は。

**A** 町長 評価は、今回の選挙の結果だと思っている。

**Q** 町長 誘致は出来なかつたが、救急体制が整っているの、周辺の病院に行くことで充分対処できる。

**Q** 警署の誘致や、警察官の増員は、

**Q** 財政難だからと、市長自ら経費削減のために努力している市もある。町では委託業務がとて

**A** 町長 町ではまだまだ犯罪が多発しており、特に南小区域に多い。地域の人たちが、防犯に関心を持つことが重要。警察官の増員要請はしている。

**Q** 一人スポーツとはいいながら、中学校での部活施設が整備されていない。

**A** 町長 短時間の業務は、安い賃金で作業してもらう方が合理的と思っている。ただ、職員数の削減は考えていく。

**Q** 町では、安心・安全を掲げている。災害の発生や地震などの緊急連絡として、携帯メールを活用し、スピーディーに情報発信すべきではないか。全町民を対象に、今後は需要が高まるはずだ。

**Q** 町長 議員や区長への連絡、町民に対しても検討していく。

**A** 町長 県立女子大などと交渉して、コートが使えるようになっていく。



災害時の緊急連絡に有効な携帯電話